

関西広域連合構成府県・市政記者クラブ同時資料配付

資 料 提 供			
月 日	発 表 者	電話番号	担当者
令和6年10月4日(金) 14時	KANSAI感祭実行委員会 関西広域連合広域観光・文化・スポーツ振興 局文化課（京都府文化生活部文化政策室）	075-414-4239	加藤 参事 小林 主査 中西 主査
	和歌山県企画部企画政策局文化学術課	073-441-2050	前田 班長 北代 主査

大阪・関西万博に向けた文化発信イベント「KANSAI^{かんさい}感祭」サテライトの実施について（第2報）

～和歌山・兵庫・徳島・滋賀で関西各地の伝統芸能を披露～

KANSAI 感祭実行委員会では、2025 年に開催される大阪・関西万博の機運醸成、関西の文化力の向上や関西各地の活性化を図るため、今年度、「文化の力で切り拓く関西の未来社会」をテーマに、文化発信イベント「KANSAI 感祭」を開催しております。（別紙）

「KANSAI 感祭」サテライトでは、関西各地で行われる文化イベントと連携し、古くから継承されてきた歴史や風土に根差した関西の伝統芸能を実演し、関西各地から大阪・関西万博を盛り上げます。

サテライト第2報として、下記のとおり4会場で実施しますので、当日の取材をよろしくお願いいたします。

記

1 KANSAI 感祭サテライト in 「わかやまプレ万博」（和歌山県）

（1）日 時

令和6年10月12日（土） 10時～16時、10月13日（日） 10時～16時

（2）会 場

和歌山ビッグウェーブ（和歌山県和歌山市手平2-1-1）

（3）内 容

KANSAI 感祭ゲスト伝統芸能として、大阪府の交野ヶ原交野節・おどり保存会が実演

①出演時間 10月12日（土） 15時

②団体紹介

現代の「河内音頭」の源流とも言われる「交野ヶ原交野節」は、現在の大阪府の枚方市と交野市にまたがる交野郡で誕生し、最も古い説では南北朝時代に南朝方の楠^{くすのきまさつら}正行の軍勢が戦に敗れ、この地まで落ちのびた楠軍の軍師が戦死者を手厚く弔った際の念仏踊りが村人によって踊り継がれたと言われる。2023年には大阪府無形民俗文化財に指定された。

（次頁あり）

2 KANSAI 感祭サテライト in 「第 28 回ラジオ関西まつり」 (兵庫県)

(1) 日 時

令和6年10月27日(日) 10時～16時30分

(2) 会 場

神戸ハーバーランド高浜岸壁(兵庫県神戸市中央区東川崎町1-6)

(3) 内 容

KANSAI 感祭ゲスト伝統芸能として、兵庫県の^{おおくらだに ししまい ほぞんかい}大蔵谷獅子舞保存会及び滋賀県の^{とんだにんぎょうきょうゆうだん}富田人形共遊団が実演

<大蔵谷獅子舞保存会>

①出演時間 ステージにて10時35分

②団体紹介

大蔵谷の獅子舞は安政2年(1855年)から続いている伝統芸能。

現在は二十余りの芸が伝承されており、雄々しく荒々しい芸風が特徴。獅子舞に付属する構成員や鳴り物などが一体となり、はじめて芸が完成する。

はじめと終わりの芸は決まっているがそれ以外の芸の順番は決まりがない獅子舞演舞となっている。

<富田人形共遊団>

①出演時間 ブース体験を1日2～3回

②団体紹介

昭和32年に滋賀県の記録作成等の措置を講ずべき無形民俗文化財に選択された「富田人形浄瑠璃」は、郷土の誇る民俗芸能として独特の風格を備え、「富田のデコ」として愛好されてきた。

「富田人形共遊団」は昭和54年(1979年)、滋賀県長浜市北富田に居住する人を中心に市内外の人形を愛好するメンバーにより新生富田人形共遊団として発足。人形遣い、三味線弾き、語りの太夫の3業の稽古を日々行い、人形浄瑠璃の保存伝承に励むと共に、地元の小中学生や地域住民、海外からの学生を迎えサマープログラムとして後継者育成、文化の国際交流にも努めている。令和4年「全国地域統芸能大賞」など数々の賞に輝いている。

3 KANSAI 感祭サテライト in 「ふるさとカーニバル阿波の狸まつり」 (徳島県)

(1) 日 時

令和6年11月2日(土) 10時～16時

(2) 会 場

藍場浜公園(徳島県徳島市藍場町1丁目 藍場浜公園一帯)

(3) 内 容

KANSAI 感祭ゲスト伝統芸能として、京都府の和知太鼓保存会が実演

①出演時間 13 時 30 分

②団体紹介

約 1000 年前、源頼光が大江山の鬼退治のため京を出発。道中で雷雨を凌いだ藤森神社（旧京都府船井郡和吹町）を出陣する際、村人が太鼓を打ち鳴らし、兵士を鼓舞して送り出したのが「和知太鼓」の起源とされる。「地打ち」「大打ち」の 2 人が 1 つの太鼓を打つ基本形を継承しつつ、時代に合わせ「乱れ打ち」など勇壮な技法も取り入れて、人びとの喜怒哀楽を豊かに表現するものに進化してきた。

4 KANSAI 感祭サテライト in 「THE シガパークフェスタ 2024」 （滋賀県）

（1）日 時

令和 6 年 11 月 3 日（日・祝） 10 時～16 時

（2）会 場

びわこ文化公園（滋賀県大津市瀬田南大萱町 1740-1）

（3）内 容

KANSAI 感祭ゲスト伝統芸能として、滋賀県の江州音頭 真鍮家一門が実演

①出演時間 13 時 30 分

②団体紹介

江戸時代末期に山伏姿の祭文語りの芸人「桜川雛山」が「祭文」を広め、その教えを受けていた「西澤寅吉」が当時流行の念仏踊りや歌念仏を取り入れ『江州八日市祭文音頭』を作り上げた。

のちに西澤寅吉の元で修業をしていた真鍮家の初代「奥村九左エ門」が音頭を語り、この 2 人の人物の協力で盆踊りに合う音曲、江州音頭の元となる「八日市祭文音頭」を完成させた。西澤寅吉は師匠の芸名である「桜川」をもらい「桜川大龍」を名乗った後に広く発展する。奥村九左エ門は稼業の家号である「真鍮」を芸名に「真鍮家好文」を名乗り五代目まで続いた後、初代好文の孫文子が当時は女性だった事から六代目「好文」としてではなく初代「文好」として継承し、現在四代目へと受け継がれている。

○主 催：KANSAI 感祭実行委員会

関西広域連合、(公社)関西経済連合会、(一財)関西観光本部、(公財)関西・大阪 21 世紀協会

○後 援：(公社)2025 年日本国際博覧会協会、歴史街道推進協議会、関西元気文化圏推進協議会

○テ ー マ：「文化の力で切り拓く関西の未来社会」

○コンセプト：「文化の担い手と受け手による出会い・共創・進化」

人と人とのつながりを生み出し、関西各地の様々な文化を未来につなげます。

○開催期間：令和 6 年 8 月～令和 7 年 3 月（予定）



＜コアイベント＞

時期 開催地	主な内容
令和 7 年 2 月 23 日（日） 大阪 （大阪南港 ATC ホール）	○関西の伝統芸能大集合（芸能の実演、山車等展示） ○関西の酒文化展（お酒の販売や試飲、パネル展示等） ○関西の「食」屋台村・直売所大集合（広域産業振興局農林水産部連携） ○ものづくり作品展（広域産業振興局連携） ○リサイクルアート展（広域環境保全局連携） ○EXPO 直前セッション（主催者、ミャクミャク等）

＜期間中イベント＞

時期 開催地	主な内容
令和 6 年 8 月～ 令和 7 年 3 月 サテライト（関西各地）	○関西各地のイベントで伝統文化パフォーマンスを披露 ○万博 PR、万博関係イベントの周知
令和 6 年 10 月 26 日（土）・27 日（日） 京都（東本願寺）	○東本願寺における夜のライトアップ ○こども向け伝統文化体験ワークショップ
令和 7 年 1 月～3 月 兵庫	○関西の「近代建築」の魅力に迫る「歴史文化遺産フォーラム」 ○文化施設をテーマでつないだスタンプラリー・周遊プログラム

○「KANSAI 感祭」特設サイト (<https://kansai-kansai.jp>)
イベント情報を随時更新します。

